

ひみこちゃんが
「大和さくらい100選」
一度は行ってみたいスポットを紹介 - その 40 -

今回は、「大和さくらい100選」の「記紀万葉ゆかりの地」に選ばれている記紀万葉ゆかりの地「山の辺の道」「大和の杜展望台」を紹介するよ！

山の辺の道

日本最古の道といわれている山の辺の道は、桜井市から奈良市に通じる古道です。古事記には、崇神天皇陵を「山の辺の道の勾の岡の陵」(山邊道勾岡上陵：天理市柳本町)、景行天皇陵を「山の辺の道の上の陵」(山邊道上陵：天理市渋谷町)と記されており、「山の辺の道」の記述を見ることができます。

※天皇陵・・・天皇の墓の意味



パンフレットもあるから、みんなも歩いてみてや〜

↓大和の杜展望台から見た大和三山



大神神社にある大和の杜展望台は、山の辺の道から少し足を延ばしたところにあり、大和三山(左：香具山 中央：畝傍山 右：耳成山)が見渡せる桜井市民もおすすめする絶景のビューポイントです。

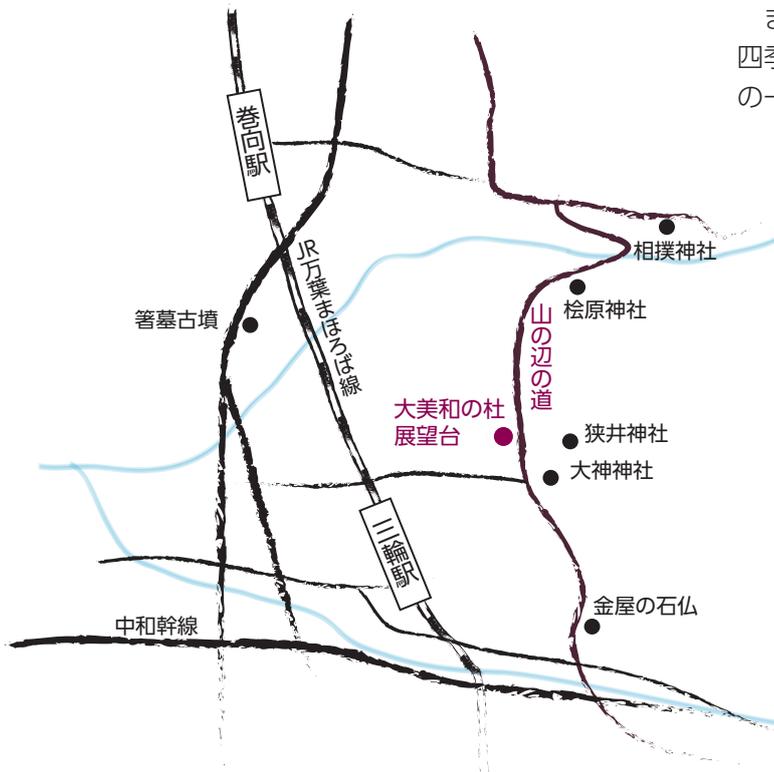
↑額田王のおきみ 額田王の歌碑と三輪山



↑山の辺の道のパンフレット

大字金屋から天理市の石上神宮までの約12kmの道は今でも歩くことができ、箸墓古墳・景行天皇陵・崇神天皇陵の間を抜け、大神神社・穴師坐兵主神社・大和神社・石上神宮などの古社が道沿いにある、古代の面影が今も残っている古道です。この山の辺の道は、ハイキングコースとしても人気が高く、県内外からたくさんの方が訪れます。

また、ひっそりと佇む「万葉歌碑」が38基もあり、四季それぞれで表情が変わる風景を楽しみながら、その一部となった歌碑巡りをするのもおすすめです。



「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課

(☎ 42 - 9111 内線 342)

twitter @himiko_chan